

11月5日(火)

恵みを数える

聖書朗読 ルカ 12:42~48

しかし、知らずにいたために、むち打たれるようなことをしたしもべは、打たれても、少しで済みます。すべて、多く与えられた者は多く求められ、多く任された者は多く要求されます。
ルカ 12:48

ウォールマート(スーパーマーケット)のレジに並んでいる女性が泣いていました。彼女はとても貧しい国にしばらく住んでいたのですが、アメリカへ戻って来たばかりの人でした。彼女が住んでいた地域では、人々が買い物へ行く時、数少ない必要なものがお店にあることを願って行くのを教えてくれました。コーンミール(トウモロコシの皮を除いたひき割り粉)や、小麦粉は買うことができますが、焼き上がったパンなどの贅沢品を買うことは出来ません。そもそも売っていないのです。人々は売っているものを買うか、買いたくても売っていないものは諦めるしかありません。

ウォールマートでの品揃えは、彼女が以前住んでいた貧しい地域にあったすべてのお店の品物を合わせても足元にも及びません。しかし、誰も幸せそうには見えませんでした。誰もその豊かさに喜んでいませんでした。当たり前すぎてありがたさに気が付いていなかったのです。

これは最近の話ではなく、30年前の話です。では、今日はどうでしょうか？

今日、私はウガンダの牧師が書いたある声明文を読みました。そこで知ったのですが、彼の地域では聖書を買うのに一週間分の給料を支払わなければならないそうです。私は自分の部屋を見回したら、22冊もの聖書があることに気が付きました。

私たちは、物理的にも霊的にも満たされているのではないのでしょうか？ そのことに対して感謝していますか？ そのような境遇とは逆の立場に居る人を助けるべきではないのでしょうか？ 恵みを受けていることに感謝し、(物理的な、霊的な)助けを必要としている人たちを助けましょう。

聖歌 604

祈り 神様、つい愚痴を言うてしまうことをお赦し下さい。あなたの恵みに感謝します。あなたが与えて下さったものを、御国のために私たちがよりよく使うことが出来ますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

セイヤー・ソールズベリー
オハイオ州トレド

11月6日(水)

感謝の気持ち

聖書朗読 ルカ 17:11~17

私は心を尽くして主に感謝します。あなたの奇しいわざを余すことなく語りあげます。
詩篇9:1

何か親切な行為をした後に“ありがとう”と感謝の言葉を言われると、嬉しくなりませんか？ 多くの方は感謝されることが好きだと思います。時間を割いて買いに行ったギフトを贈って、喜ばれると嬉しいですよね。私たちは日々の生活の中で、感謝を示す機会がたくさんあるのではないのでしょうか。家庭、職場、学校、もしくはそれ以外の場所でも、笑顔をもって感謝を示すことは出来ます。感謝をする機会を見失ってはいませんか？

私たちが感謝を示すべき相手は、人だけではなくありません。もちろん神様にも感謝の思いを示すべきでしょう。詩篇の中で、ダビデ王は何度も神様がなされた行いに対して感謝の意を示しています。神様が私たちに与えて下さったことは数え切れませんが、特に一人子であるイエス様を与えて下さり、希望を与えて下さったことも含めて、感謝します。日々神様に“ありがとうございます”と感謝の意を示すことは、常に感謝の気持ちを持ち続ける上でも大切ではないのでしょうか。

神様への感謝の思い持ち、人々への感謝を示しながら生きることは、私たちが恵みに気づき、より一層感謝の気持ちを持つことへと繋がります。

聖歌 291

祈り 天におられるお父様、数え切れないほどの恵みを与えて下さりありがとうございます。恵みに感謝し、感謝の心を持ち、日々の生活の中で感謝の気持ちを示しながら過ごせますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジェーン・ポー・マッシー
テキサス州ヒューストン

11月7日 (木)

完璧な奇蹟

聖書朗読 ヨハネ 2:1~11

したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことがおできになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。
ヘブル 7:25

イエス様は中途半端な奇蹟を起こされたことはありませんでした。つまり、イエス様の奇蹟はいつも徹底的で完璧だったと言えるのです。例えば、イエス様が最初に起こされた奇蹟は、ただ単に水をぶどう酒に変えただけではなく、その量にも注目すべきです。婚礼の祝いのために集まった数多くの人が足りるよう、何十リットルもの水をぶどう酒へと変えられました。イエス様が起こされた他の奇蹟も同じように完璧なものでした。盲目の人を癒された時、眼鏡があれば何とか見える視力にしたのではなく、完全に視力を回復されました。5000人もの男性（さらに女性と子供たちも居ました）に食べ物を与えた時は、彼らが食べるのに十分な量の食べ物を与えただけではなく、12バスケット分の余りが残るほどでした（マタイ 14:20）。また、イエス様が嵐を収められた時は、少し風が収まるような収め方ではなく、すっかり風の状態へと変えられました（マルコ 4:39）。

私たちが間違いを犯しても、イエス様は完全に赦して下さいます。あなたがどのような危機に直面しようとも、イエス様はそれを完全に解決するお力をお持ちなのです。そして、イエス様が私たち全ての人々を救って下さったことに目を向けましょう。イエス様は中途半端な奇蹟を起こされることはされません。完全な奇蹟を起こし、私たちを救って下さるのです。

讃美歌 162

祈り 天に居られるお父様、私たちは不完全です。そんな私たちに気にかけて下さり、ありがとうございます。御名を讃美し、イエス様を与えて下さったことに感謝します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョッシュ・ボイド
インディアナ州ラファイエット

11月8日 (金)

癒されたいですか

聖書朗読 ヨハネ 5:1~16

さて、ゼベダイのふたりの子、ヤコブとヨハネが、イエスのところに来て言った。「先生。私たちの頼み事をかなえていただきたいと思います。」

マルコ 10:35

近年、臓器移植は治療法の一つとして、非常に一般的になっています。私の友達は両方の肺の移植を受け、成功しました。臓器移植を受けるにあたり、彼は肉体的な準備はもちろんのこと、気持ちの準備も必要でした。今は移植された臓器の拒否反応を防ぐために、厳しい療法に従っています。彼の健康状態は驚くほど良くなり、望んでいた癒しを受けることが出来ました。

全ての人は心の移植が必要とも言えます。つまり悪い心を捨て、神の御心を求める心を持つことです。そして人の心は罪という問題を持っていますが、それを分かっているながらも、この問題の解決（癒し）を避けようとする思いも抱きがちです。神様の助けが必要だと感じながらも、私たちの心が癒されるという神様の御心を、私たちは拒絶しがちなのです。パウロの気持ちが分かるのではないのでしょうか。「やりたくないこと」をやり、「やりたいこと」をやらないのです（参照：ローマ 7:15）。「わたしに何をしてほしいのですか？」と素晴らしい魂の医師である主イエスは、主を求める人に問いかけられました。その答えは心の移植ではないのでしょうか？

神様に栄光を！ もし私たちが癒されることを選ぶなら、神様は私たちを癒して下さいます。私たちの心は入れ替えられ、御心にならなくなった行いが出来るよう導いて下さいます（ピリピ 2:13）。私たちの心は新たにされ、神様に喜ばれることを見分けられるようになるでしょう（ローマ 12:2）。そして聖霊様の御力により、私たちの心は生まれ変わり、新たなものとされるでしょう（テトス 3:4-7）。

讃美歌 521

祈り イエス様、癒しを与えて下さりありがとうございます。御心を行う心へと私たちの心が変われるよう、お導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ベヴァリー・ブレゾエ
テキサス州アマリロ

11月9日(土)

神様のよう

聖書朗読 ヨハネ 5:15~23

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行うのです。ヨハネ 5:19

禁煙を呼び掛けるために作られたビデオを、数年前に観ました。そのビデオでは、ある息子が父親の行動を真似する様子が映し出されていました。小さい男の子が一日中、父親について回り、父親の行動を全て真似したのです。体の動きですら、全て真似しました。この小さい男の子が自分の父親のようになりたいと思っていることは明らかでした。そして、男の子が(自分も真似しようとして)父親を注意深く見つめている時、父親は煙草に火をつけようとしていました。ビデオの視聴者はドキッとしたことと思います。こうしてこのビデオは、「子供は親の行動をよく見ているから注意するように」というメッセージを視聴者たちに訴えていたのです。

ヨハネ5章では、イエス様は神様を父と呼ぶことで非難されます。なぜなら、それはイエス様と神様を等しくするからです。『イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分から何も行うことはできません。すべて父がなさることを、子も同様に行うのです』(19節)。私たちは神様を父と呼びます。それならば、先ほどの喫煙に関するビデオの息子ではありませんが、私たちは、私たちの天の父である神様がなさることに注意を払い、神様に少しでも似る者とされるべきではないでしょうか。つまり、愛や慈しみの心を持ち、赦しの心を持つ人へとされていくことです。そのように私たちが変えられていく時、私たちが少し神様に似る者へと変わっていくのではないのでしょうか。

讃美歌 121

祈り 神様、私たちの父でおられることに感謝します。私たちが、少しでもあなたに似る者とされるよう、私たちをお導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州オースティン

11月10日(日)

主と共に歩み続ける

聖書朗読 ヨハネ 6:5~11

するとイエスは彼に言われた。「だれでも、手を鋤につけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくありません。」ルカ 9:62

ヨハネは、どうやってイエス様が群衆(五千人の男性と、さらに女性たちと子供)に少年が持っていた大麦パン5個と魚2匹を基に、食べ物を与えられたかについて記しています。大勢の群衆がイエス様についてきていました。これらの人々がイエス様についてきたのは、イエス様による病人の癒しを彼らは目撃していたからです。そして、奇蹟的な方法で食事を提供されたイエス様を見て、人々は『まことに、この方こそ、世に来られるはずの預言者だ』と言いました(14節)。

こうして人々はイエス様を賞賛して後について来ましたが、人々がついて来たのは、イエス様による体の癒しや五千人の給食で配られた食物に驚いたからであり、それらの奇蹟が指し示す「深い意味での救い」については理解していませんでした。彼らは本当の弟子(イエス様が「まことのいのち」をお与えなる救い主であると信じて従うこと)の意味を理解していなかったのです。ですので、ヨハネ6:56の『わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしもその人のうちにとどまります』の意味を理解することが出来ず、『これを聞いて、弟子たちのうち多くの者が言った。「これはひどい話だ。だれが聞いていられるだろうか』(60節)と反応しました。そして、悲しいことに66節には『こういうわけで、弟子たちのうち多くの者が離れ去り、もはやイエスとともに歩もうとはしなくなった』とあります。

このように多くの人々がイエス様から離れていきました。しかし、イエス様が私たちに望んでおられることは、私たちが「イエス様こそ救い主である」ということを真に理解して、私たちがいつも主と共に歩むことです(67、68節)。主から離れず、主に従って行くことは必ずしもいつも容易いことではありませんが、私たちが「主から離れず、いつも主と共に歩みたい」と願うその思いを、主は祝福して下さいます。

讃美歌 338

祈り 親愛なるお父様、あなたの一人子であるイエス様に従うことにより、唯一のまことのいのちの言葉へと導かれ、また御国への道へ導かれることを理解出来ますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

セラーズ・S・クレイン・Jr
テネシー州マディソン